

地方自治体向け社会福祉業務システム

限られた期間で帳票ツールの置き換えが
実現したことで大幅にランニングコストが低減

お客様プロフィール

株式会社 BCC 様

株式会社 BCC は、福岡を拠点に IT ソリューションを展開する企業です。顧客の課題解決と地域社会の未来創造に貢献することを使命とし、高品質な情報サービスと人材育成を通じて、安心・快適な社会の実現を目指しています。



所在地

福岡県福岡市中央区六本松2丁目
12番19号 BCCビル

資本金

1億円

URL

<https://www.bcc-net.co.jp/>

事業内容

1. システムインテグレーション
2. トータルセキュリティサービス
3. 情報ネットワークサービス
4. ソフトウェア開発

導入背景

当社が多数展開する自治体向けの業務システムでは、さまざまな業務様式に素早く対応するために多機能な帳票ツールが導入されています。

お客様は導入実績があるツールを好まれるほか、開発では独自のノウハウも必要なため帳票ツールの選択肢も限られますが、多機能さを必要としない小規模な業務ではライセンスや保守料が高額となるため、ライセンス更新前のお客様からコストを軽減したいとの相談を受けていました。

ただ、わずかな期間で別ツールへの置き換えとなると作業量も使用感も未知数で提案できずにいましたが、別のプロジェクトの紹介で Java 対応の Excel 帳票ツールがリリースされることを知り、導入を検討することとなりました。

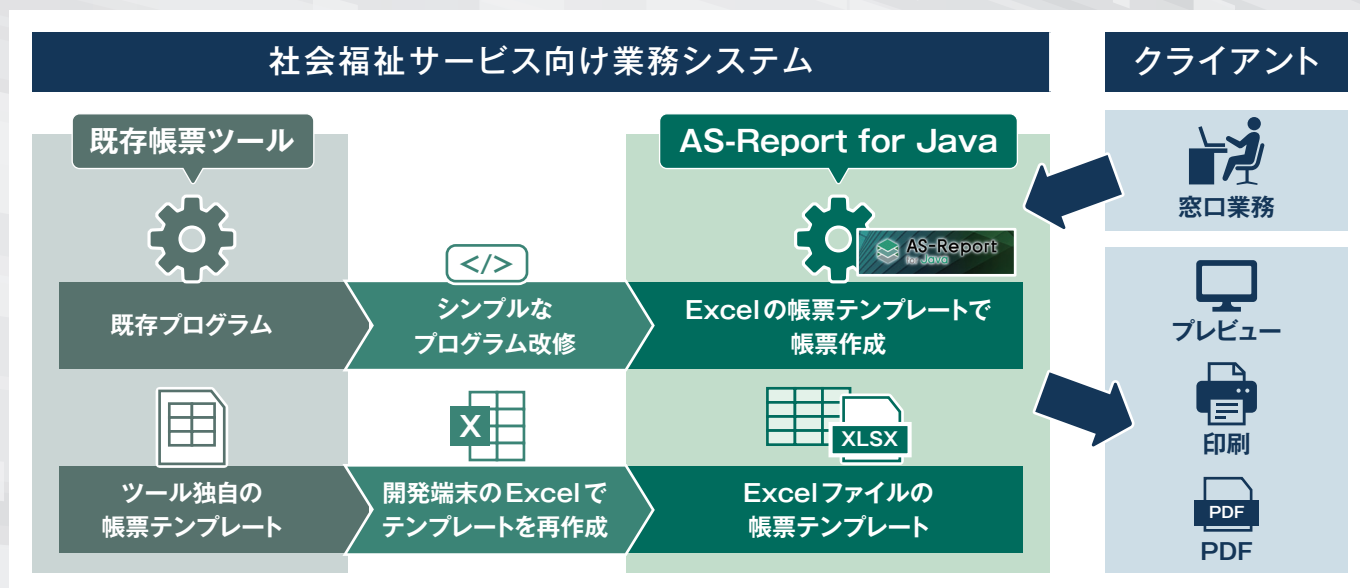
使用方法

社会福祉業務における 8 種類の帳票出力機能で AS-Report for Java を活用しています。

ツールの置き換えに伴い帳票レイアウトを作り直す必要がありましたが、AS-Report for Java は Excel のシートを帳票レイアウトとして使用できるため、既存システムの帳票 Excel ファイルを参考に、Excel 上で帳票レイアウトを作成しました。

また、既存の帳票ツールでは、帳票テンプレートに配置した入力項目に名前をつけ、値の差し込みを行っていましたが、AS-Report for Java でも、Excel のセル名（名前の定義）によるセル位置への値の差し込みが可能であったため、既存ツールのコードを流用して帳票出力の処理を実装しました。

システム概要



導入効果

ライセンスの更新まで2ヶ月を切り、商品選定から開発期間も1ヶ月しかない中でアドバンスソフトウェア様に相談したところ、Excelで帳票レイアウトが簡単に作れることやプログラムの実装内容もシンプルなのが分かり、置き換えに踏み切りました。結果、Excelでの見た目がそのまま帳票に反映できたことで、迷わずに作業を進めることができ、期間内に置き換えることができました。

また、異なる帳票ツールのように専用デザイナーの導入や操作を覚える必要もなく、Excelであることで開発者だけでなくお客様自身での調整も実現できるため、既存の帳票ツールとの併用を含め、お客様への提案の幅も広がりました。

お客様の声

第二パブリックソリューション 事業本部 担当者様

自社で開発とサポートをされているとのことで、技術的な問い合わせをしても早く、分かりやすく教えていただけたため、安心して使用することができました。

導入製品情報



「AS-Report for Java」は、Excelで帳票デザインを作成する帳票ツールです。Excelがデザイナーとなるため、帳票ツール独自のデザイナー機能を習得する必要はなく、エンドユーザーが直接Excelでレイアウトを変更することが可能です。帳票のデザインとなるExcelファイルの指定や帳票ページとして使用するシートの指定、データの挿し込みやページの繰り返し、プレビュー/印刷/保存の出力はJavaで実装します。